



ほけんだより

2022年 7月
沼袋西保育園：看護師

梅雨明けとともに太陽がまぶしい季節になりました。気温もうなぎ上りで、一気に夏の日差しへと変わります。新型コロナウイルス感染症発症数も減少傾向となり、新しい対応が示されております。コロナ前の状態に戻すことは難しいですが、早く好きなところに出かけてのびのび遊べるようになったら、と思います。気温上昇に伴い、熱中症リスクも高まります。危険を避けつつ楽しく外遊びができるよう工夫していきます。

子どもの熱中症を防ぎましょう

体温調節機能が未熟

暑さに弱く、身体にこもった熱をうまく発散できません。衣服で調節しましょう。

マスクをつける場合は、適宜外しましょう。出かける時間帯も考慮する必要があります。

暑さに気がつかずに脱水症状が起こりやすい

遊びに集中しているときや眠っている間は喉の渇きに気がつきにくく、とくに乳児のお子さんは自ら訴えることができないため、こまめに水分補給するなど大人の配慮が必要です。

子どもは地面からの照り返しを受けやすい

身長が低いことやベビーカーに座っている状態は、地面からの照り返しで、大人が感じているよりも高温の環境になっていますので、十分注意しましょう。

*車内は短時間で一気に温度が上昇しますので、エアコンをつけるから大丈夫と思わず、安全面からも絶対に車内に子どもだけが残らないようにして下さい。

大人の配慮で、子どもの熱中症を防ぎましょう。

言葉の発達の話

～ ”共同注意”という言葉をご存知ですか？ ～

東京大学 発達心理学教授 遠藤利彦先生は、NHKの番組(*)の中で、「赤ちゃんや幼児が言葉を1番覚えるのは、「共同注意」という場面です。「共同注意」とは、親と子どもで同じものを見ているときに、子どもが見ているもの(例:犬など)に対して、「ワンちゃんだ、かわいいね」などと、親が子どもに話しかけます。そうすることによって、子どもはそのタイミングで「ワンちゃん」という言葉を覚えるようになります。

そのため、スマートフォンに猫が表示されているときに、「あっ、猫ちゃんかわいいね。」などと、コミュニケーションのトピックにするといいですね。」と話されています。

(* Eテレ すくすく子育てより 引用)

☆タブレットやテレビなどを上手に活用したいですね。

7月の保健行事

- 5日(火) 身体計測：幼児クラス
- 6日(水) 身体計測：乳児クラス
- 14日(木) 9:30～ 0歳児健診
- 28日(木) 9:30～ 0歳児健診

* 皮膚のケアも忘れずに！ ～ 汗をかき・紫外線を大量に浴びる

夏の皮膚ケアも大切です～

日焼け:紫外線によるやけどの一種です。皮膚が未熟で薄い子どもは影響を強く受けます。

プールや水あそび時には、日焼け止めや、ラッシュガードや帽子を活用し日焼け防止を行いましょ。

あせも:首の回りやわきの下などの汗腺が詰まって炎症を起こした状態で発疹が出ます。チクチクしたかゆみを伴い、1日で急に発生することもあります。こまめに汗を拭いたり、シャワーを浴びて皮膚を清潔に保ちましょ。

